

港区立東町小学校 平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

○明るい子 ○よく考える子 ○やりぬく子 ○思いやりのある子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

◎主体的・対話的で深い学びを通して、3つの資質・能力（知識及び技能・思考力、判断力、表現力等・学びに向かう力、人間性等）の育成を図る。
 ・基礎・基本の時間（国語・算数・国際科フォニックス）を活用して、基礎・基本の定着を図る。
 ・問題解決型の学習を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図る。

昨年度の成果と課題

・漢字検定で目標の級に合格できた児童が増えた。
 ・区学力調査の経年変化では、微増ではあるが、少しずつ学力向上が見られる。ただし、理科に課題がある。
 ・学級担任とN Tの指導上の役割の見直しを図り、国際科授業の充実を図る。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
☆表現力の育成 ○基礎・基本の定着 ○日本文化の時間の設定	○学習規律の確立 ○English Support Courseの設置 ○講師等の有効活用 ○少人数指導（習熟度別指導）の実施 ▲ICT機器の活用	☆「特別の教科 道徳」の評価の開発 ○学力調査の活用 ○国際科アセスメントの実施 ▲基礎・基本の定着と評価	☆「育成すべき資質・能力を育てる指導と評価の在り方」について体育科と国際科を窓口にした授業創り ○六本木アカデミーにおける研究・研修	○地域教材や地域人材を活用した授業の実施 ○学校公開の実施 ○地域防災協議会と連携した防災教育 ▲オリンピック・パラリンピック教育の推進

具体的な取組

☆表現活動の場としての音楽会の実施 ○朝の15分間の基礎・基本の時間における漢字・読書・計算・フォニックス練習 ○土曜授業日に日本文化の時間の実施	○「東町学びのやくそく」の掲示による全学級、学習規律の共有化 ○外国籍児童に対するの国語（日本語、英語）、算数の英語による授業の実施 ○1年生における少人数講師、2年生における少人数講師、4年生以上の理科におけるSAとのチーム・ティーチング ○国際科におけるスタンダードコース、アドバンスコースに分かれた習熟度別学習、算数科における習熟度別学習の実施 ○教材提示における電子黒板、調べ学習、体育科での試技のチェックにおけるタブレットの活用	☆道徳ノートの活用による書く活動の充実 ○全国、東京都、港区学力調査結果の分析による児童の課題の明確化 ○「国際科における意識調査」の結果分析による児童の国際科授業に対する意欲の把握と授業改善 ▲東京ベーシックドリルの活用	☆体育科における課題達成領域の授業モデル、国際科の授業モデルの構築 ○六本木アカデミーの各校・園における研究授業・研究保育を通しての異校・園種間の指導方針・指導方法の共通理解	○町探検（2年）、日本文化の時間（4～6年）の実施 ○年3回の学校公開、年1回の道徳授業地区公開講座の実施 ○地区防災協議会と連携した避難所体験 ○地域の大使館と連携した授業や地域のオリンピック・パラリンピアンを講師に迎えた授業
---	---	--	--	---

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組